



2025年7月14日

各位

会社名 株式会社 ジェーション
代表者名 代表取締役社長兼会長 太田万三彦
(コード番号 3080 東証スタンダード市場)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役管理本部長
兼経営企画室長 山田仁夫
電話 04-7193-0911

業績予想の修正に関するお知らせ

2025年4月14日に公表した2026年2月期(2025年3月1日~2026年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2026年2月期 第2四半期(累計)(2025年3月1日~2025年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	15,600	620	630	400	31円22銭
今回修正予想(B)	15,100	310	320	170	13円27銭
増減額(B-A)	△500	△310	△310	△230	—
増減率(%)	△3.2	△50.0	△49.2	△57.5	—
(ご参考)前年実績 (2025年2月期 第2四半期)	15,033	542	559	340	26円55銭

(2) 2026年2月期 通期(2025年3月1日~2026年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	31,000	770	800	500	39円03銭
今回修正予想(B)	29,900	410	440	230	17円95銭
増減額(B-A)	△1,100	△360	△360	△270	—
増減率(%)	△3.5	△46.7	△45.0	△54.0	—
(ご参考)前年実績 (2025年2月期 通期)	28,297	538	573	345	26円97銭

2. 修正の理由

第1四半期の業績が当初想定を下回ったことを踏まえ、第2四半期（累計）および通期の売上高、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想を下方修正しました。

第1四半期においてP B商品である「尚仁沢の天然水」と「はじける強炭酸水」（天然水の炭酸水）の販売は好調に推移いたしました。主に仕入価格の高騰に歯止めがかからない中、J V商品（※）の集荷が十分でなかったこと、および2025年3月に買収した株式会社サンモールに関するM&A関連費用や車両購入に伴う減価償却費などの前向きな投資費用の増加に加え、水道光熱費の高騰などが、大きく影響いたしました。

第2四半期以降は、業績改善に向けて、引き続きJ V商品仕入れ強化・立て直しへの取組み、新規P B商品の市場投入に加え、子会社株式会社サンモールとの共同店舗化や商品の相互補完など、収益改善・シナジー効果の早期実現を図るべくあらゆる施策を実施してまいります。しかしながら、収益面においては当初業績予想値までの挽回は難しく、2026年2月期の第2四半期、通期ともに減益となる見込みです。

当社の業績は、今後の個人消費の動向などにより、大きく変動する可能性があります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

※J V（ジェーソン・バリュー）商品

当社グループの特別な集荷努力により、お客様と当社グループ双方にとってより有利さを実現した商品。

以上

（注） 上述の業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の事業運営等の内外の状況の変化により、異なる可能性があります。